THE OFFICIAL MATCHDAY PROGRAMME



30th
2022 J.LEAGUE YBC Levain CUP FINAL

2022 Jリーグ YBCルヴァンカップ決勝

10.22[土] 13:05 KO ＠国立競技場

フジテレビ系列で全国生中継！

2022 J.LEAGUE YBC Levain CUP FINAL

GREETINGS
ご挨拶



公益財団法人
日本サッカー協会
会長

田嶋 幸三
Kohzo TASHIMA

Ｊ１リーグ、天皇杯と並ぶ国内３大タイトルの一つ「Ｊリーグ YBC ルヴァンカップ」は、Ｊリーグ開幕前年の1992 年にスタートし、今年、記念すべき 30 周年を迎えました。若手の登竜門とも言われ、この大会を経て飛躍を遂げた選手は枚挙にいとまがないほどです。「同一企業の協賛で最も長く開催されたプロサッカーリーグの大会」としてギネス世界記録にも認定されており、30 年の歴史の中には数々の名勝負や感動的なドラマが刻まれています。
今大会の決勝は、2017 年以来 2 度目の王座を狙うセレッソ大阪と初優勝を目指すサンフレッチェ広島が、決戦の地・国立競技場で相まみえます。

Ｃ大阪は、準決勝第１戦を浦和レッズと引き分け、第２戦を快勝して２年連続で決勝に進出。前回大会では名古屋グランパスに苦杯を喫しただけに５年ぶりの優勝カップ奪還に向けて並々ならぬ闘志を燃やしているでしょう。一方の広島は、準決勝でアビスパ福岡を退け、森保一監督（当時）が率いた 2014 年以来、８年ぶりの決勝進出となりました。悲願の優勝を果たすため、この大一番に向け相当な覚悟で戦ってきたはずです。両チーム共にＪ１リーグでも熾烈 (しれつ) な上位争いを繰り広げているとあって、今日の日本サッカーを象徴するハイレベルな戦いになることは間違いありません。

FIFA ワールドカップカタール 2022 開幕まで１カ月を切り、本決勝の注目度も高まっています。しかも、今回は声出し応援が解禁されましたのでスタジアムは声援と熱気に包まれ、コロナ禍前のサッカーの興奮と感動が味わえるでしょう。激しくもフェアな戦いになることを祈っています。

最後になりましたが、長きにわたりご支援いただいていますヤマザキビスケット株式会社をはじめ、中継局のフジテレビ、大会運営にご尽力いただいた東京都サッカー協会ほか、関係者の皆さまに心から御礼申し上げます。



公益社団法人
日本プロサッカーリーグ
チェアマン

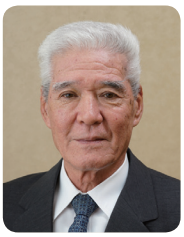
野々村 芳和
Yoshikazu NONOMURA

高らかに鳴り響くアンセム、ゴール裏に鮮やかに描かれたコレオグラフィー。今年もルヴァンカップの決勝が始まります。1992 年の第１回から数えて 30 回目、ルヴァンカップ決勝の舞台が国立競技場に帰ってきました。また何より、この決勝の場にサポーターの皆さまの“声”が３年ぶりに戻ってきたことを本当に嬉しく思います。ピッチ上で、頂点をめざしプレーを続ける選手たちにとって何よりの大きな“チカラ”となることは間違いありません。

セレッソ大阪、サンフレッチェ広島、共に３度目の決勝進出となるクラブの初顔合わせとなりました。２年連続決勝に進んだセレッソ大阪は、昨年の決勝の雪辱を果たすべくこの一戦に挑んでくるでしょう。一方、天皇杯に続き今シーズン２つ目のカップ戦ファイナリストとなったサンフレッチェ広島は、初のルヴァンカップ獲得に挑みます。リーグ戦でも上位につける両チームが繰り広げる一戦に、今から心が踊ります。

今年は、声出し応援エリアを設けつつ、それ以外のエリアは入場制限を 100％とし、多くの皆さまに応援していただけることになりました。一人でも多くのファン・サポーターの皆さまにご来場いただくため、スタジアムが安全、安心な場所であることを証明するにあたり、多くの方に惜しみなくご尽力をいただきました。選手たちが最高のパフォーマンスを発揮できる舞台を整えることができたことは、ひとえにクラブ、選手、地域、関係するすべての方々の温かいサポートによるものです。あらためて感謝申し上げます。

最後になりましたが、長きにわたり日本サッカー発展の一翼を担ってきた本大会を第１回大会より特別協賛いただいているヤマザキビスケット株式会社はじめ、すべての関係者の皆さまのご理解とご協力に心より御礼申し上げます。本日の決勝が、節目の大会に相応しい、皆さまにとって心に残り続ける素晴らしい“作品”となることを願ってやみません。



ヤマザキビスケット株式会社
代表取締役社長

飯島 茂彰
Shigeaki IIJIMA

２月 23 日の開幕より長きに亘り多くのドラマを生んできました、本大会の最終決戦であります「2022 Ｊリーグ YBC ルヴァンカップ決勝」は、いよいよキックオフの笛を待つのみとなりました。新型コロナウイルスによる制限の中、本日の決勝に至るまで数々の素晴らしいプレーで私たちを魅了してきた選手、支えてきたクラブ関係者、声援を送り続けてきたサポーターの皆様の一致団結した姿に大変感銘を受けております。1992 年に国内初のプロサッカー大会として産声を上げました本大会も数々の歴史を重ね、本日ここに第 30 回目の決勝を迎えられました事は大変有難い事と感謝しております。

2022 年、Ｊリーグはサッカー、スポーツ界にとどまらず、皆が安心して楽しめる環境、社会づくりを目指す理念に基づき、徹底した新型コロナウイルス感染症へ様々な検証を行ってきました。本日の決勝が、上限約５万席とコロナ禍以前に近い水準で開催できる運びとなりましたのも、携わっていただきました皆様のご尽力によるものと大会スポンサーとして御礼申し上げます。

さて、この度の組み合わせは、２年連続の決勝進出となるセレッソ大阪と、８年ぶりの決勝進出となるサンフレッチェ広島の対戦となりました。サッカーの聖地とも言われる国立競技場にて頂点を目指し戦う両クラブの選手、スタッフ、ファン・サポーターの熱い思いがぶつかり合い、フェアプレーの精神を忘れない、歴史に残る闘志溢れる攻防を見せてくれる事と期待しております。

ここに本大会が第 30 回大会に至る今日まで運営を支えて頂いた公益財団法人日本サッカー協会ならびに公益社団法人日本プロサッカーリーグをはじめとする関係各位、また終始暖かいご声援をいただいたファン・サポーターの皆様に深く感謝申し上げます。今後のＪリーグおよび日本サッカー界の益々の発展を期待し、お祈り申し上げます。

S U M M A R Y

大会名称 ：2022 ＪリーグＹＢＣルヴァンカップ
主　　催 ：公益財団法人 日本サッカー協会
　　公益社団法人 日本プロサッカーリーグ
特別協賛 ：ヤマザキビスケット株式会社

大会概要

大会方式

Ｊ１　18チーム、Ｊ２　２チームが参加

［グループステージ］

・ＡＣＬに出場する４チーム（川崎Ｆ、浦和、横浜ＦＭ、神戸）を除くＪ１の14チームとＪ２の２チーム（前年度Ｊ１の17位、18位）の16チームを４グループに分け、各グループで２回戦総当たり（ホーム&アウェイ方式）のリーグ戦を行う。
・各グループ上位２チームの８チームがプレーオフステージに進出する。

Ａグループ（４チーム）：鹿島／Ｃ大阪／Ｇ大阪／大分
Ｂグループ（４チーム）：名古屋／広島／清水／徳島
Ｃグループ（４チーム）：鳥栖／札幌／柏／京都
Ｄグループ（４チーム）：福岡／ＦＣ東京／湘南／磐田
※グループステージ各グループの組み合わせは、２０２１明治安田生命Ｊ１リーグおよびＪ２リーグの順位をもとに決定

［プレーオフステージ］

・グループステージを勝ち上がった８チームにより、ホーム&アウェイ方式の２試合を行う。プレーオフ勝者４チームがプライムステージに進出する。
・プレーオフステージの組み合わせは、以下とする。
Ａグループ１位対Ｄグループ２位
Ｂグループ１位対Ｃグループ２位
Ｃグループ１位対Ｂグループ２位
Ｄグループ１位対Ａグループ２位

［プライムステージ］

・プレーオフステージを勝ち上がった４チーム、およびＡＣＬに出場する４チーム（川崎Ｆ、浦和、横浜ＦＭ、神戸）を加えた計８チームにより、ホーム&アウェイ方式のトーナメント戦を行う。
（決勝は１試合のみ）

開催日

［グループステージ：全６節］
第１節　２月23日（水・祝）、第２節　３月２日（水）、第３節　３月26日（土）、第４節　４月13日（水）、第５節　４月23日（土）、第６節　５月18日（水）

［プレーオフステージ］
第１戦　　６月４日（土）
第２戦　　６月11日（土）

［プライムステージ］
準々決勝　第１戦　８月３日（水）、第２戦　８月10日（水）
準決勝　第１戦　９月21日（水）、第２戦　９月25日（日）
決勝　10月22日（土）

試合会場

原則として各クラブのホームスタジアム

表彰

優勝　賞金１億５千万円、Ｊリーグカップ（チェアマン杯）、ＪリーグＹＢＣルヴァンカップ（パートナー杯）、メダル
２位　賞金５千万円、楯、メダル
３位　１クラブにつき賞金２千万円、楯

MVP

２０２２ＪリーグＹＢＣルヴァンカップ優勝チームの中から、最も優勝に貢献した選手には、MVP賞として賞金100万円とクリスタルオーナメント（ティファニー社製）、ヤマザキビスケット社製品１年分が贈られる。



NEW HERO

「ニューヒーロー賞」は、２０２２リーグＹＢＣルヴァンカップ（グループステージ～準決勝）を通じて、最も活躍が顕著であった21歳以下の選手１名に贈られる。



■対象選手
・当該シーズンの12月31日において満年齢21歳以下の選手
・第２種トップ可登録選手およびJFA・Ｊリーグ特別指定選手も対象
※ただし、過去に同賞を受賞している選手は対象外とする

■選出方法
グループステージ～準決勝までの各試合会場における報道関係者の投票をもとに、Ｊリーグチェアマンを含む選考委員会において、今年度のニューヒーロー賞を選出。

■表彰
賞金50万円、クリスタルオーナメント、ヤマザキビスケット社製品１年分

Ｊリーグの最新情報はこちらをチェック！

ＪリーグＹＢＣルヴァンカップの情報をはじめ、明治安田生命Ｊ１、Ｊ２、Ｊ３リーグなど、Ｊリーグにまつわるすべての情報がここに。全試合日程から試合の速報、選手名鑑、フォト、動画まで公式ならではのコンテンツが満載！

Ｊリーグ公式サイト
https://www.jleague.jp

ルヴァンカップの情報は「# ルヴァンカップ」へ

Ｊリーグ公式 Facebook ページ
（@jleagueofficial）

Ｊリーグ公式 Instagram
（@jleaguejp）

Ｊリーグ公式 LINE
（LINE ID:@j.league）

Ｊリーグ公式 Twitter
（@J_League）

来場者アンケートにご協力ください

Ｊリーグでは来場された方へのアンケートを後日メールにてご案内予定です。
安心・安全なスタジアムを目指し、参考とさせていただきますので皆様のご協力よろしくお願いいたします。

©J.LEAGUE

ROAD TO FINAL

PRIME STAGE TOURNAMENT

C大阪
過去優勝回数
1回

広島
過去優勝回数
0回



決勝
10/22 SAT
国立競技場

※アウェイゴール数によりC大阪が準決勝進出

準決勝
9/21 WED
9/25 SUN

準々決勝
8/3 WED
8/10 WED

	準々決勝		準決勝		準々決勝	
浦和	4（合計）1 1（第1戦）1 3（第2戦）0	名古屋				
			1（合計）5 1（第1戦）1 0（第2戦）4	川崎F	3（合計）3 1（第1戦）1 2（第2戦）2	C大阪
横浜FM	2（合計）5 1（第1戦）3 1（第2戦）2	広島				
			3（合計）2 3（第1戦）2 0（第2戦）0	福岡	3（合計）1 2（第1戦）1 1（第2戦）0	神戸

30周年大会。歴史に名を刻むのは？

30周年を迎えたJリーグYBCルヴァンカップ。
栄えあるファイナルの舞台に立つのはセレッソ大阪とサンフレッチェ広島だ。
ともにグループステージから勝ち上がり、C大阪は2年連続、広島は8年ぶりの決勝進出となる。
30周年のメモリアルな一戦で歴史に名を刻むのはC大阪か、広島か。

PLAY-OFF STAGE プレーオフステージ 結果

北海道コンサドーレ札幌	1（合計）4 0（第1戦）3 1（第2戦）1	サンフレッチェ広島
名古屋グランパス	7（合計）1 6（第1戦）1 1（第2戦）0	京都サンガF.C.
セレッソ大阪	5（合計）1 1（第1戦）0 4（第2戦）1	湘南ベルマーレ
アビスパ福岡	2（合計）2 1（第1戦）0 1（第2戦）2	鹿島アントラーズ

※アウェイゴール数により福岡がプライムステージ進出



2022 ニューヒーロー賞は北野颯太（C大阪）が受賞！

グループステージから準決勝を通じて、最も活躍が顕著だった21歳以下（当該シーズンの12月31日時点の満年齢）の選手1名に贈られる『ニューヒーロー賞』はC大阪の北野颯太が受賞。高校生ながらグループステージから準決勝まで9試合に出場し、3ゴールを挙げるなどのセンセーショナルな活躍を見せた。

GROUP STAGE グループステージ 戦績表

A グループ

順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	鹿島アントラーズ	13	6	4	1	1	16	7	9
2	セレッソ大阪	11	6	3	2	1	14	9	5
3	ガンバ大阪	5	6	1	2	3	8	12	-4
4	大分トリニータ	3	6	0	3	3	9	19	-10

B グループ

順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	サンフレッチェ広島	12	6	4	0	2	13	5	8
2	名古屋グランパス	10	6	3	1	2	6	4	2
3	清水エスパルス	8	6	2	2	2	6	8	-2
4	徳島ヴォルティス	4	6	1	1	4	5	13	-8

C グループ

順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	京都サンガF.C.	10	6	3	1	2	8	11	-3
2	北海道コンサドーレ札幌	8	6	2	2	2	13	11	2
3	柏レイソル	8	6	2	2	2	9	8	1
4	サガン鳥栖	6	6	1	3	2	9	9	0

D グループ

順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	湘南ベルマーレ	12	6	4	0	2	9	6	3
2	アビスパ福岡	10	6	3	1	2	6	6	0
3	ジュビロ磐田	7	6	2	1	3	4	5	-1
4	FC東京	5	6	1	2	3	4	6	-2

2022 J.LEAGUE YBC Levain CUP FINAL

INTERVEW

2022J リーグ YBC ルヴァンカップ決勝アンバサダー

ATSUTO UCHIDA
内田 篤人

Jリーグ YBC ルヴァンカップ決勝アンバサダーを務める内田篤人氏に、
注目選手や 30 周年を迎えたルヴァンカップの価値について語ってもらった。

毎シーズン、決勝は見応え十分

――内田さんにとって、ルヴァンカップとはどのような大会でしょうか？

「大会を通じて若い選手が出場機会をつかんで台頭してくる印象があります。チームとしては、決勝まではホーム＆アウェイの戦い方が非常に大切で、そこを熟知していないと勝ち上がれません。そしてもちろんタイトルが懸かる決勝はがっぷり四つのシビアな戦いとなり、ごまかしがききません。毎シーズン、決勝は見応え十分な試合になっている印象です」

――印象に残っている決勝を教えてください。

「自分はプロ 1 年目の 2006 年にファイナルまで進んだのですが、世代別代表の活動期間と日程が重なり出場できず、鹿島も負けてしまいました。プロになる以前では、先日お亡くなりになったイビチャ・オシムさんが千葉を率いて優勝した 05 年の印象も強いです。シーズン終盤に行われる決勝はチームの勢いが反映されやすい。そこが非常に面白く、05 年は千葉の色が出ていました」

若手に意識してもらいたい大会

――C 大阪で注目している若手選手を教えてください。

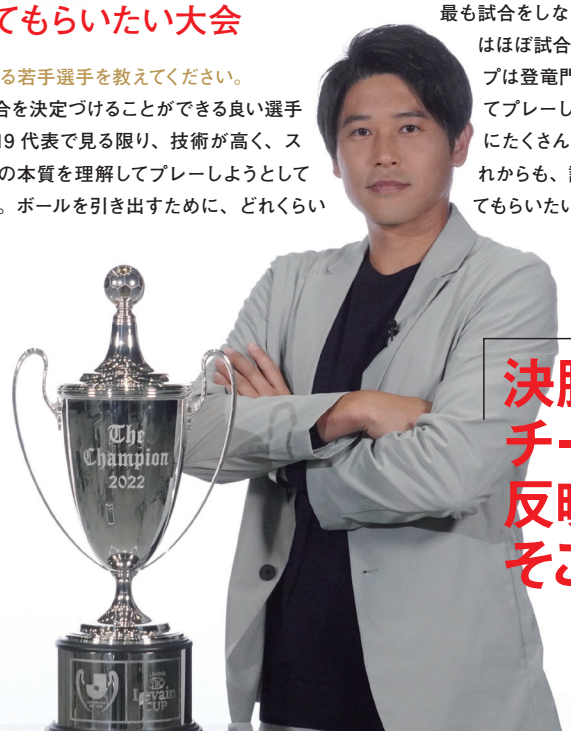
「北野颯太選手です。試合を決定づけることができる良い選手で、自分が指導するU -19 代表で見る限り、技術が高く、スピードもあり、サッカーの本質を理解してプレーしようとしているのが伝わってきます。ボールを引き出すために、どれくらいの頻度で下がってきていいのか、どこのポジションでプレーしたほうが相手は嫌がるのかなど、状況を踏まえてプレーしていると感じます。先発でもいいですし、途中から出ても自分の良さを出しつつ相手のイヤなところを突ける選手だと思います」

――広島はいかがでしょうか。

「大卒 1 年目の満田誠選手です。勢いがあり、ゴールから遠い位置からでも迷いなく足を振り抜いてゴールを決めています。流通経済大を卒業してトントントンと評価を上げ、これからも非常に楽しみな選手です。広島は前からプレスにいくので、非常に走力が求められるのですが、そこは十分クリアしています。プロ 1 年目で自分の良さを出すことに集中できているので、怖いものなしのように見えます。そこがいい方向に出ているのではないでしょうか」

――今年のルヴァンカップは 30 周年のメモリアル大会を迎え、長年、“若手の登竜門”としてサッカー界に貢献してきました。内田さんもルーキーイヤーに 10 試合出場するなど経験を積んだ思い出深い大会ではないでしょうか。

「本来、高卒 1、2 年目はプロのスピードやテンポに慣れるために最も試合をしなければいけない世代だと思います。ただ、現実はほぼ試合に出られていません。だからこそ、ルヴァンカップは登竜門ではあるけれど、若手にはもっともっと出場してプレーしてもらいたいです。自分もそうでしたが、先輩にたくさん怒られながらプロの世界に慣れていきます。これからも、試合の雰囲気に慣れるためにも、若手に意識してもらいたい大会であり続けてほしいですね」



**決勝は
チームの勢いが
反映されやすく、
そこが非常に面白い**

文・小田 尚史

雪辱誓う桜軍団。高めてきた完成度

就任２年目、小菊昭雄監督が掲げる「全員が攻守に関わりハードワークするアグレッシブなサッカー」を体現すべく、全員が走り、戦い、充実のシーズンを送っている。[4-4-2]を基本システムに、複数の戦術を使い分けられることも強み。２トップを起点に前からプレスをかけて、ボールを奪う守備。プレスの位置を下げて、コンパクトに構えるブロック守備。攻撃では、奪ってからの速攻やサイドからのクロスを中心に、後ろからつなぐビルドアップも向上。速攻、遅攻、セットプレーと、どこからでもゴールを狙えるチームへと成長を遂げつつある。

今大会は、G大阪、鹿島、大分と同居したグループステージを２位で通過すると、湘南とのプレーオフステージでは、ホーム、アウェイともに勝利。続く川崎Ｆとの準々決勝は、２戦とも劇的な展開となった。ホームでの第１戦は、0-1で迎えた89分、アダム タガートの同点ゴールで引き分けに持ち込むと、アウェイに乗り込んだ第２戦はさらにドラマチックな結末に。0-2と敗色濃厚な90分、山中亮輔のクロスに加藤陸次樹が合わせて１点差に迫ると、90＋6分、ラストプレーで山田寛人が同点ゴール。アウェイゴールの差で勝ち進んだ。浦和との準決勝は、ホームでの第１戦を1-1、アウェイでの第２戦は4-0の快勝。２年連続でファイナル進出を決めた。迎えた決勝戦。昨年の雪辱を果たすべく、桜軍団が国立のピッチに立つ。



MF

HIROSHI KIYOTAKE
清武 弘嗣

MF

HIROAKI OKUNO
奥埜 博亮



MUTSUKI KATO
加藤 陸次樹

FW

セレッソ大阪

●ホームタウン：大阪府／大阪市、堺市
●ホームスタジアム：ヨドコウ桜スタジアム
●クラブ名の由来：セレッソ（CEREZO）はスペイン語で大阪市の花である「桜」の意味。大阪市を、そして日本を代表するチームに育つよう願いが込められている。
●クラブカラー：ピンク
●タイトル：リーグカップ１回（2017）
天皇杯１回（2017）



GK

KIM JIN HYEON
キム ジンヒョン

番記者ーロメモ

指揮官の息抜き

何かとストレスの多い監督業。小菊昭雄監督の息抜きは、ランニング。「走ると悩みが解決できる」。スラリとした体型維持にも役立っており、“イケおじ”として、選手に負けず人気も高い。

桜のムードメーカー

チームのムードメーカーは加藤陸次樹と舩木翔。舩木の悩みは、「（加藤が）自分の車にゴミを残して帰ること」。加藤の悩みは、「（舩木が）脱いだ練習着を自分のロッカーに置いたままにすること」

CEREZO OSAKA PLAYERS FILE

セレッソ大阪選手名鑑



2 DF

松田 陸
Riku MATSUDA

① 1991/7/24
② 171/69
③ 大阪府
④ FC東京
⑤ 31/0
⑥ 9/0
⑦ 鋭いクロス、ビルドアップ



3 DF

進藤 亮佑
Ryosuke SHINDO

① 1996/6/7
② 183/74
③ 北海道
④ 北海道コンサドーレ札幌
⑤ 7/2
⑥ 5/0
⑦ 打点の高いヘディング



4 MF

原川 力
Riki HARAKAWA

① 1993/8/18
② 175/72
③ 山口県
④ サガン鳥栖
⑤ 18/0
⑥ 6/0
⑦ 長短のキック精度



5 MF

喜田 陽
Hinata KIDA

① 2000/7/4
② 171/59
③ 大阪府
④ アビスパ福岡
⑤ 1/0
⑥ 1/0
⑦ 縦に差し込むパス



6 DF

山中 亮輔
Ryosuke YAMANAKA

① 1993/4/20
② 171/65
③ 千葉県
④ 浦和レッズ
⑤ 23/0
⑥ 9/0
⑦ 左足での正確なクロス



7 MF

上門 知樹
Satoki UEJO

① 1997/4/27
② 166/61
③ 沖縄県
④ ファジアーノ岡山
⑤ 17/2
⑥ 11/2
⑦ ミドルシュート、プレス



9 FW

アダム タガート
ADAM TAGGART

① 1993/6/2
② 183/69
③ オーストラリア
④ 水原三星ブルーウィングス／大韓民国
⑤ 19/5
⑥ 3/1
⑦ DF ラインとの駆け引き



10 MF

清武 弘嗣
Hiroshi KIYOTAKE

① 1989/11/12
② 172/66
③ 大分県
④ セビージャ／スペイン
⑤ 22/2
⑥ 8/1
⑦ スルーパス、ゲームメーク



11 FW

ブルーノ メンデス
BRUNO MENDES

① 1994/8/2
② 184/82
③ ブラジル
④ クラブ デポルティーボ ／ウルグアイ
⑤ 21/3
⑥ 7/0
⑦ ヘディング、フィジカル



14 DF

丸橋 祐介
Yusuke MARUHASHI

① 1990/9/2
② 178/73
③ 大阪府
④ セレッソ大阪U－18
⑤ 5/0
⑥ 3/0
⑦ ニアへ合わせる鋭いクロス



16 DF

毎熊 晟矢
Seiya MAIKUMA

① 1997/10/16
② 179/69
③ 長崎県
④ V・ファーレン長崎
⑤ 26/3
⑥ 10/1
⑦ スピード豊かな縦突破



17 MF

鈴木 徳真
Tokuma SUZUKI

① 1997/3/12
② 168/64
③ 栃木県
④ 徳島ヴォルティス
⑤ 23/2
⑥ 10/0
⑦ ゲームを支配する力



19 MF

為田 大貴
Hirotaka TAMEDA

① 1993/8/24
② 175/72
③ 長崎県
④ ジェフユナイテッド千葉
⑤ 26/0
⑥ 10/3
⑦ トリッキーなパスと突破



20 FW

加藤 陸次樹
Mutsuki KATO

① 1997/8/6
② 178/69
③ 埼玉県
④ ツエーゲン金沢
⑤ 25/6
⑥ 10/4
⑦ 豪快なシュート、プレス



21 GK

キム ジンヒョン
KIM Jin Hyeon

① 1987/7/6
② 192/82
③ 大韓民国
④ 東国大／大韓民国
⑤ 31/0
⑥ 6/0
⑦ セーブ、ビルドアップ



22 DF

マテイ ヨニッチ
MATEJ JONJIC

① 1991/1/29
② 187/83
③ クロアチア
④ 上海申花／中国
⑤ 25/1
⑥ 6/1
⑦ ヘディング、統率力



23 DF

山下 達也
Tatsuya YAMASHITA

① 1987/11/7
② 182/77
③ 兵庫県
④ 柏レイソル
⑤ 0/0
⑥ 1/0
⑦ 対人守備



24 DF

鳥海 晃司
Koji TORIUMI

① 1995/5/9
② 182/71
③ 千葉県
④ ジェフユナイテッド千葉
⑤ 17/0
⑥ 8/1
⑦ カバーリング



25 MF

奥埜 博亮
Hiroaki OKUNO

① 1989/8/14
② 171/68
③ 大阪府
④ ベガルタ仙台
⑤ 30/3
⑥ 8/2
⑦ 献身的な攻守、球際の強さ



26 FW

ジェアン パトリッキ
JEAN PATRIC

① 1997/5/14
② 175/72
③ ブラジル
④ CDサンタクララ／ポルトガル
⑤ 26/5
⑥ 7/1
⑦ スピードに乗ったドリブル



29 DF

舩木 翔
Kakeru FUNAKI

① 1998/4/13
② 177/65
③ 奈良県
④ SC相模原
⑤ 12/2
⑥ 7/0
⑦ 精度の高い左足



31 GK

清水 圭介
Keisuke SHIMIZU

① 1988/11/25
② 183/75
③ 兵庫県
④ 京都サンガ F.C.
⑤ 2/0
⑥ 6/0
⑦ 豊富な経験、メンタル



32 FW

木下 慎之輔
Shinnosuke KINOSHITA

① 2004/5/9
② 175/76
③ 大阪府
④ セレッソ大阪西U－15
⑤ 0/0
⑥ 0/0
⑦ 決定力



33 DF

西尾 隆矢
Ryuya NISHIO

① 2001/5/16
② 180/77
③ 大阪府
④ セレッソ大阪U－18
⑤ 23/0
⑥ 4/0
⑦ 屈強なフィジカル



34 FW

山田 寛人
Hiroto YAMADA

① 2000/3/7
② 183/76
③ 愛知県
④ ベガルタ仙台
⑤ 20/4
⑥ 4/2
⑦ しなやかなターン



36 DF

川合 陽
Hinata KAWAI

① 2004/4/23
② 176/71
③ 大阪府
④ セレッソ大阪西U－15
⑤ 0/0
⑥ 0/0
⑦ 際での対応力



37 MF

石渡 ネルソン
Nelson ISHIWATARI

① 2005/5/10
② 185/71
③ 京都府
④ セレッソ大阪西U－15
⑤ 1/0
⑥ 1/0
⑦ ダイナミックな攻守



38 FW

北野 颯太
Sota KITANO

① 2004/8/13
② 172/60
③ 和歌山県
④ セレッソ大阪U－18
⑤ 17/0
⑥ 9/3
⑦ スピード、プレス



39 GK

真木 晃平
Kohei MAKI

① 1998/7/31
② 184/86
③ 岡山県
④ SC相模原
⑤ 0/0
⑥ 0/0
⑦ GK 陣のムードメーカー



41 MF

中原 輝
Hikaru NAKAHARA

① 1996/7/8
② 169/66
③ 熊本県
④ モンテディオ山形
⑤ 25/1
⑥ 8/2
⑦ 右サイドからのカットイン



48 GK

春名 竜聖
Ryusei HARUNA

① 2004/5/1
② 182/81
③ 兵庫県
④ セレッソ大阪西U－15
⑤ 0/0
⑥ 0/0
⑦ 足元の高い技術



49 MF

チャウワット
CHAOWAT

① 1996/6/23
② 171/63
③ タイ
④ BGパトゥム ユナイテッドFC／タイ
⑤ 0/0
⑥ 0/0
⑦ 左足での展開力

① 生年月日
② 身長／体重
③ 出生地
④ 前所属クラブ
⑤ 今季J1出場数／得点数
⑥ 今季ルヴァンカップ出場数／得点数
⑦ ストロングポイント
※出場数、得点数は10月12日時点

CEREZO OSAKA

2022 J.LEAGUE YBC Levain CUP FINAL

「アルバイトから始めた指導者」というフレーズに、「それが事実ですから」と笑う。「ただ、僕は僕で、選手としてのキャリアを重ねて監督としても成功している人たちにも負けない時間を過ごし、学んできたことに誇りももっています」と自負も覗かせる。育成のコーチからスタートさせた指導者としてのキャリア。スカウト、強化部など裏方に回る時期もありつつ、長年、さまざまな監督の下でトップチームのコーチを務めてきた。「歴代の指揮官の近くで学んできた時間は財産」と話す。「モチベーター」と評されることも多い。実際、選手たちには常に前向きな言葉をかけ、明るく盛り立てる。ただし、「モチベーターとしてだけでは、長続きしない」と自ら語るように、理論や戦術も大切にする。コーチ時代は、夜遅くまでクラブハウスに残り、相手の分析や自チームのフィードバックの映像も制作するなど、“分析担当”としての顔も持つ。

昨年 8 月、レヴィー クルピ前監督の後任として指揮官に就任し、そこから約 2 カ月でルヴァンカップ・ファイナルの舞台にたどり着いた。ただし、結果は 0-2 の敗戦。名古屋グランパスがカップを掲げる瞬間を下から見る悔しさを味わった。「自分の力のなさを感じた。選手に申し訳ない気持ちだった。必ずまたこの舞台に戻ってくる」。誓いを立てると、今季、「忘れ物を取りにいく」を合言葉に、2 年連続でファイナル進出を果たした。つかみ取った 2 度目のチャンス。「セレッソというクラブが今後も歴史を重ねていく中で、3 つ目の星はユニフォームにも残り、輝き続ける。いまのメンバー、スタッフと、歴史に名を刻みたい」。桜を愛する叩き上げの指揮官が、チームを頂点に導く。

2年連続のファイナル。今度は獲る

MANAGER

小菊 昭雄

AKIO KOGIKU

TOKUMA SUZUKI

鈴木 徳真

MF

Pick Up Player



桜色に染まった“ゲームの支配者”

正確なパスや展開で中盤の構成力を高め、セカンドボールの回収にも長けたボランチの鈴木徳真。攻守両面での予測力に優れ、ゲームを支配する能力が高い。

徳島から加入して１年目だ。C 大阪での先発デビューは、J リーグ YBC ルヴァンカップのグループステージ第１節・G 大阪戦だった。この試合で彼は、FK から為田大貴の先制点をアシスト。流れを作って勝利に貢献すると、続く第２節の鹿島戦でも攻守に活躍。ルヴァンカップにおけるチームのスタートダッシュの原動力となった。

その後は、対人守備に課題を残し、５月から６月にかけてはメンバーに入れない苦しい時期も過ごしたが、ここで終るようなやわなメンタルではなかった。練習から自身を見つめ直し、「何が自分の良さで、何が足りないのか」を徹底的に模索。一回り大きく成長すると、７月以降、負傷で原川力が抜けた中盤を支え、いまではチームに欠かせぬ選手として君臨している。徳島時代の恩師、リカルド ロドリゲス監督が率いる浦和との対戦となった準決勝。特に第２戦では、攻守に持ち味を遺憾なく発揮。先制点につながるスルーパスなど攻撃面でも貢献すれば、守備でも力強いボール奪取が光り、ファイナル進出の立役者となった。「試合に出続けることで、勝敗を分けるような試合の機微をつかめるようになった。流れを読む力は増した」。自身もそう手ごたえを口にするように、今季のチームにおいて、最も成長を遂げた選手と言っても過言ではない。

加入１年目だが、その心はすでに桜色に染まっている。「何よりも僕は、セレッソのプライドを持って、タイトルを手にしたい」。その瞬間は、すぐそこまできている。

文・寺田 弘幸

充実感みなぎる広島。決勝もアグレッシブに

ミヒャエル スキッベ監督の下、広島はルヴァンカップを勝ち上がるたびに強くなった。

名古屋、清水、徳島が同居したグループステージは 29 選手がピッチに立って戦った中、第 5 節の徳島戦を 4-0 で勝利して首位通過を決め、スキッベ監督はチームの成長を称えた。

「トレーニングでやってきたことがゴールに結び付いた。成長が見えてきている」

リーグ戦と並行してルヴァンカップを戦う中で課題が一つひとつクリアになっていき、チームの一体感も高まっていった。プレーオフステージで札幌を破った後、青山敏弘はこうコメントしている。

「チームみんなで前進している感じがすごくある。さらにみんなで成長していくためにも、このルヴァンカップは大きなチャンス。勝ち上がるほどチーム力が上がっていくことを実感できると思う」

迎えたプライムステージ。ベテラン MF が睨んでいたとおり、広島はどんどんチーム力を上げていった。準々決勝で横浜 FM を下すと、勢いに乗って 8 月はリーグ戦も含めて 6 戦全勝。18 得点を挙げる爆発力を見せ、拮抗した試合も途中出場の選手の活躍で競り勝った。そして、準決勝で福岡を破って決勝進出を決めると、主将の佐々木翔は「最高のシーズンになっている」と充実感を滲ませてファイナルを見据えた。

「セレッソは何回やっても強い相手だなと実感させられているが、相手どうこうよりも自分たちの力を最大限に発揮することがタイトルに一番近づく。アグレッシブに広島のサッカーをして勝ちたい」

今季就任したスキッベ監督の下、広島はみんなで成長してきた。あとはもう自分たちを信じるだけ。これまでやってきたことに自信をもって国立のピッチに立つ。



DF
SHO SASAKI
佐々木 翔



MF
GAKUTO NOTSUDA
野津田 岳人

サンフレッチェ広島

●ホームタウン：広島県／広島市
●ホームスタジアム：エディオンスタジアム広島
●クラブ名の由来：サンフレッチェは、日本語の「三」とイタリア語の「フレッチェ＝矢」を合わせたもので、広島にゆかりの深い戦国の武将、毛利元就の故事に由来し、「三本の矢」を意味している。
●クラブカラー：紫
●タイトル：J1 リーグ優勝 3 回（2012、2013、2015）



GK
KEISUKE OSAKO
大迫 敬介



MF
TSUKASA MORISHIMA
森島 司

番記者一口メモ

人気 YouTuber との親交
人気 YouTuber『リゼム』のメンバーは野津田岳人にとって兄のような存在。「（広島の下部組織の）1 個上の先輩でみんなにかわいがってもらった。いまはすごく楽しそう」。彼らの成功をとても喜んでいる。

ソティリウの足には…
モデルのようなルックスのピエロス ソティリウ。奥さんもモデルのよう。子どもたちも可愛らしく、ソティリウの足には長男を描いたタトゥーが入れてある。来年には生まれたばかりの第二子を入れる予定。

SANFRECCE HIROSHIMA PLAYERS FILE

サンフレッチェ広島選手名鑑



1 GK

林 卓人
Takuto HAYASHI

① 1982/8/9
② 188/83
③ 大阪府
④ ベガルタ仙台
⑤ 5/0
⑥ 2/0
⑦ 経験と鍛錬によるセーブ



2 DF

野上 結貴
Yuki NOGAMI

① 1991/4/20
② 180/72
③ 東京都
④ 横浜ＦＣ
⑤ 23/1
⑥ 12/1
⑦ 身体能力を生かした守備



3 DF

塩谷 司
Tsukasa SHIOTANI

① 1988/12/5
② 182/81
③ 徳島県
④ アル　アインFC／アラブ首長国連邦
⑤ 24/0
⑥ 7/1
⑦ ハイクラスな強さと巧さ



4 DF

荒木 隼人
Hayato ARAKI

① 1996/8/7
② 186/77
③ 大阪府
④ 関西大
⑤ 30/2
⑥ 9/1
⑦ 無類に強い空中戦



6 MF

青山 敏弘
Toshihiro AOYAMA

① 1986/2/22
② 173/74
③ 岡山県
④ 作陽高
⑤ 14/0
⑥ 8/0
⑦ 非凡なパスセンスと統率力



7 MF

野津田 岳人
Gakuto NOTSUDA

① 1994/6/6
② 177/72
③ 広島県
④ ヴァンフォーレ甲府
⑤ 26/2
⑥ 8/1
⑦ 抜群の運動量と左足の精度



9 FW

ドウグラス ヴィエイラ
DOUGLAS VIEIRA

① 1987/11/12
② 189/82
③ ブラジル
④ 東京ヴェルディ
⑤ 11/3
⑥ 8/0
⑦ 体張れるポストワーカー



10 MF

森島 司
Tsukasa MORISHIMA

① 1997/4/25
② 175/67
③ 三重県
④ 四日市中央工高
⑤ 29/8
⑥ 10/2
⑦ 想像力とアグレッシブさ



13 FW

ナッシム ベン カリファ
NASSIM BEN KHALIFA

① 1992/1/13
② 180/69
③ スイス
④ エスペランス スポルティ／チュニジア
⑤ 23/5
⑥ 7/1
⑦ 誰より献身的に走って戦う



14 MF

エゼキエウ
EZEQUIEL

① 1998/3/9
② 167/66
③ ブラジル
④ ボタフォゴＦＲ／ブラジル
⑤ 9/1
⑥ 3/0
⑦ 独特なリズムのドリブル



15 MF

藤井 智也
Tomoya FUJII

① 1998/12/4
② 173/68
③ 岐阜県
④ 立命館大
⑤ 26/1
⑥ 6/0
⑦ 圧倒的なスピードと強引さ



16 MF

浅野 雄也
Yuya ASANO

① 1997/2/17
② 173/72
③ 三重県
④ 水戸ホーリーホック
⑤ 12/0
⑥ 3/0
⑦ スピードと左足、大胆さ



17 MF

松本 泰志
Taishi MATSUMOTO

① 1998/8/22
② 180/70
③ 埼玉県
④ セレッソ大阪
⑤ 21/3
⑥ 9/0
⑦ ゴール前に進出する走力



18 MF

柏 好文
Yoshifumi KASHIWA

① 1987/7/28
② 168/62
③ 山梨県
④ ヴァンフォーレ甲府
⑤ 23/3
⑥ 9/2
⑦ 勝負強く、クリエイティブ



19 DF

佐々木 翔
Sho SASAKI

① 1989/10/2
② 177/70
③ 神奈川県
④ ヴァンフォーレ甲府
⑤ 32/2
⑥ 10/0
⑦ 攻守ハイレベルなリーダー



20 FW

ピエロス ソティリウ
PIEROS SOTIRIOU

① 1993/1/13
② 186/83
③ キプロス
④ ルドゴレツ　ラズグラド／ブルガリア
⑤ 6/1
⑥ 0/0
⑦ 非凡なシュートセンス



21 DF

住吉 ジェラニレショーン
Jelani Reshaun SUMIYOSHI

① 1997/10/5
② 182/84
③ アメリカ合衆国
④ 水戸ホーリーホック
⑤ 7/0
⑥ 6/2
⑦ チームトップの身体能力



22 GK

川浪 吾郎
Goro KAWANAMI

① 1991/4/30
② 192/89
③ 茨城県
④ ベガルタ仙台
⑤ 1/0
⑥ 3/0
⑦ コーチングと陽気さ



23 FW

鮎川 峻
Shun AYUKAWA

① 2001/9/15
② 164/65
③ 愛知県
④ サンフレッチェ広島ユース
⑤ 3/1
⑥ 0/0
⑦ スピード豊かで強気な FW



24 MF

東 俊希
Shunki HIGASHI

① 2000/7/28
② 180/69
③ 愛媛県
④ サンフレッチェ広島ユース
⑤ 19/0
⑥ 8/2
⑦ 左足のキックと果敢さ



25 MF

茶島 雄介
Yusuke CHAJIMA

① 1991/7/20
② 166/60
③ 広島県
④ ジェフユナイテッド千葉
⑤ 6/1
⑥ 7/0
⑦ クレバーでスピーディー



27 MF

川村 拓夢
Takumu KAWAMURA

① 1999/8/28
② 183/72
③ 広島県
④ 愛媛ＦＣ
⑤ 14/3
⑥ 7/2
⑦ 攻守にダイナミック



28 FW

棚田 遼
Ryo TANADA

① 2003/6/19
② 173/67
③ 広島県
④ サンフレッチェ広島ユース
⑤ 3/0
⑥ 1/0
⑦ 勝気なテクニシャン



30 MF

柴﨑 晃誠
Kosei SHIBASAKI

① 1984/8/28
② 177/67
③ 長崎県
④ 徳島ヴォルティス
⑤ 28/1
⑥ 9/0
⑦ 技術もセンスも抜群



33 DF

今津 佑太
Yuta IMAZU

① 1995/7/8
② 184/80
③ 山梨県
④ ヴァンフォーレ甲府
⑤ 5/0
⑥ 3/0
⑦ 屈強なフィジカル有す DF



38 GK

大迫 敬介
Keisuke OSAKO

① 1999/7/28
② 187/86
③ 鹿児島県
④ サンフレッチェ広島ユース
⑤ 26/0
⑥ 7/0
⑦ 培われた身体能力と決断力



39 FW

満田 誠
Makoto MITSUTA

① 1999/7/20
② 170/63
③ 熊本県
④ 流通経済大
⑤ 27/8
⑥ 11/2
⑦ 攻守に熱く走るシューター



MF

笠木 優寿
Yuzu KASAGI

① 2004/11/6
② 170/63
③ 広島県
④ サンフレッチェびんごＪｒユースＦＣ
⑤ 0/0
⑥ 0/0
⑦ チーム加速するドリブラー



MF

越道 草太
Sota KOSHIMICHI

① 2004/4/3
② 180/67
③ 広島県
④ サンフレッチェ広島Ｊｒユース
⑤ 0/0
⑥ 0/0
⑦ サイドでのドリブルが魅力



DF

中野 就斗
Shuto NAKANO

① 2000/6/27
② 182/76
③ 東京都
④ 桐蔭横浜大在学中
⑤ 1/0
⑥ 0/0
⑦ 柔軟性あって推進力が魅力



GK

名越 瑛恆
Eiko NAGOSHI

① 2004/7/23
② 187/74
③ 京都府
④ マルカＦＣ
⑤ 0/0
⑥ 0/0
⑦ ユースの１番。京都出身 GK



MF

畑野 遼太
Ryota HATANO

① 2004/4/27
② 176/68
③ 広島県
④ ＦＣバイエルンツネイシ
⑤ 0/0
⑥ 0/0
⑦ ユースを支えるキャプテン



DF

山﨑 大地
Taichi YAMASAKI

① 2001/1/8
② 184/77
③ 広島県
④ 順天堂大在学中
⑤ 0/0
⑥ 0/0
⑦ 守備職人でキックも持ち味



GK

山田 光真
Koshin YAMADA

① 2005/7/29
② 186/75
③ 滋賀県
④ SAGAWA SHIGA FC
⑤ 0/0
⑥ 0/0
⑦ 滋賀出身の17歳。186cmの GK

① 生年月日
② 身長／体重
③ 出生地
④ 前所属クラブ
⑤ 今季Ｊ1出場数／得点数
⑥ 今季ルヴァンカップ出場数／得点数
⑦ ストロングポイント
※出場数、得点数は 10 月 12 日時点

SANFRECCE HIROSHIMA

MICHAEL SKIBBE

ミヒャエル スキッベ

MANAGER



広島旋風の秘密

欧州でハイクラスな実績を残しているドイツ人指揮官のミヒャエル スキッベ監督だが、決して広島で画期的なサッカーを展開しているわけではない。

チームに内包する能力を見極めて攻撃的でアグレッシブなサッカーを展開することを決断すると、攻撃も守備も主体的にトライしていくことを選手たちに求めていき、攻守にファイトできる野津田岳人、満田誠、川村拓夢らを抜擢していった。「私が魔法をかけたわけではない。元々広島にはいい選手がそろっていた」とスキッベ監督も笑みを浮かべて話しているが、広島は明らかに変わった。常に前向きなマインドを持ってシーズンを戦っていくスキッベ監督の存在そのものが画期的だった。

表面的な変化よりも内面的な部分で起こった変化が大きかった。主力選手が存分に力を発揮でき、若い選手がブレイクスルーできたのも、選手たちが伸び伸びとプレーできる環境をスキッベ監督が作ってくれたからにほかならない。

野津田は言う。「監督のすごいところを一言で言えば、人としての器の大きさ。何度も監督の言葉に助けられてきたし、監督の余裕のある佇まいが安心感を与えてくれる」

選手のパフォーマンスが飛躍的に向上するところを目の当たりにしてきた足立修強化部長もマネジメントの巧みさに唸っている。

「監督は選手のマイナスを見ずにプラスを見て評価している。このアプローチは、日本サッカー界においては新しいと思う。アメとムチの両方が必要だけど、監督はアメを渡すタイミングがすごくいい。その時の最高のアメを一つあげるから、そりゃ選手もうれしいよ」。

「楽しめ！」指揮官にいつもそう言われてピッチに送り出される選手たちは、国立でも恐れることなく躍動して日本サッカー界に新しい風を吹かせていく。



2022 J.LEAGUE YBC Levain CUP FINAL

駆け上がる紫の大卒ルーキー

ルヴァンカップが満田誠のサクセスストーリーの始まりだった。グループステージ第1節の徳島戦。ターンオーバーして臨んだチームの中でも満田はベンチスタートとなり、7分しかピッチに立てなかった。プロデビュー戦はうれしさよりも悔しさのほうが大きかったが、その分、やることが明確に定まった。

「攻守のトランジションは誰よりもできる自信があるので、そこをアピールしながら結果を出していきたい。出場時間が短くても点を取れる選手はたくさんいる。自分がそういう選手になっていきたい」

第2節の名古屋戦も満田はベンチからスタートするも、負傷した東に代わって24分から出場。慣れない左WBでのプレーとなったが、左CBの佐々木に「思い切ってチャレンジさせてください」とお願いしてピッチを駆け、44分にゴールネットを揺らしてみせた。

1つ目の階段を上った大卒ルーキーは、その後はすごい勢いで駆け上っていく。J1第3節の神戸戦で途中出場してリーグデビューを果たし、第4節のFC東京戦で先発の11人に名を連ね、第6節の湘南戦でリーグ初得点をマークすると、前線で攻守にエネルギッシュにプレーしながら結果を残していく背番号39が、チームが躍進する原動力になっていった。

リーグ戦では目標のニケタ得点ニケタアシストに迫る8得点8アシストをマークし、2つのカップ戦で決勝の舞台に立つ。満田は類のない1年目のシーズンを過ごしているが、自身で強い意志をもって切り開いてきた道だ。

「この1試合のプレーでもう次のチャンスはもらえなくなるかもしれない。これが最後のチャンスかもしれない。そう思っていつも試合に臨んでいる」

満田は目の前のチャンスをつかみ取ることに全力を傾け、のしあがってきた。国立の舞台でプレーできるビッグチャンスも、もちろん全身全霊をかけて挑んでいく。

Pick Up Player

FW

満田 誠

MAKOTO MITSUTA

2022 J.LEAGUE YBC Levain CUP FINAL

EVENT INFORMATION
イベント情報

1 ルヴァンカップサッカーパーク



ルヴァンカップキッズイレブンでおなじみのシュートゲームを決勝でも実施。
参加者にはヤマザキビスケット社製品のお菓子をプレゼント！

【実施場所】E ゲート
【実施時間】10：00 ～キックオフまで
＊景品引換所はハーフタイム終了まで（但し、お菓子がなくなり次第、終了いたします）

2 スポーツくじ「WINNER」大抽選会

スポーツくじ WINNER

新スポーツくじ「WINNER」の発売記念として、スポーツくじ「WINNER」の Twitter アカウントをフォロー頂いた方を対象に選手直筆サイン入り試合球や大会記念グッズ、WINNER オリジナルグッズがあたる大抽選会（ハズレ無し）を実施しています。

【実施場所】D ゲート付近
【実施時間】9：00～試合開始まで
※景品無くなり次第、終了となります。
【参加条件】スポーツくじ「WINNER」の Twitter をフォロー
※既にフォローいただいている方もご参加いただけます。

スポーツくじ「WINNER」Twitter アカウント

3 JリーグYBCルヴァンカップ サステナブルステーション

Jリーグ社会連携（シャレン！）では、リーグカップパートナーのヤマザキビスケット株式会社、環境省、セレッソ大阪、サンフレッチェ広島との協働で「サステナブルステーション」を運営します。以下の取組にご協力いただいた方先着 1,000 名に「サンクスカード」をお渡しします。

◆フードドライブ:各家庭で使いきれない未使用食品を持ち寄り、まとめてフードバンク団体等に寄贈します。
◆小型家電回収：各家庭にある使わなくなった小型家電を回収し、再資源化を目指します。今回は小型家電リサイクル法のもと国の認定業者と提携し、対象小型家電の回収を行います。
◆衣類回収：各家庭にある着なくなった衣類を回収し、再資源化を目指します。

ご来場者様限定！ Jリーグ公式アプリ ClubJ.LEAGUE スタジアムチェックインキャンペーン

Jリーグ公式アプリ「ClubJ.LEAGUE」では本日の試合使用球などが抽選で当たるキャンペーンを実施しています。アプリでセレッソ大阪もしくはサンフレッチェ広島をお気に入り登録のうえ、スタジアムでチェックインを行い、前半キックオフまでにご応募下さい！
ご応募はニュースメニュー内バナーまたはJチャレメニュー内キャンペーン一覧などからご参加いただけます。当選者はハーフタイムにスタジアムビジョンなどで発表いたします。当選通知が届きましたら、期日までに発送先の情報をご入力下さい。

A 賞　本日の試合使用球 1 名様
B 賞　YLC 30th Levain プライムパッケージデザイングッズセット 20 名様
C 賞　Club J.LEAGUE オリジナルトートバッグ　20 名様







オープニングイベント

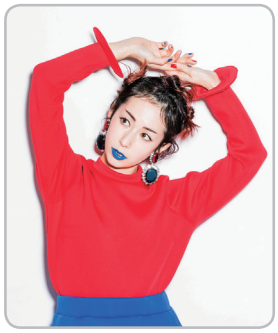


※イメージです

ルヴァンカップ 30 周年記念大会の決勝を彩る特別なオープニングイベントを実施致します。
50 名を超えるプロのパフォーマーによるフラッグを使用した演舞、音楽と炎が融合した特別な入場演出を是非ご覧ください！スタジアム全体を盛り上げます！

【当日スケジュール】
12:40 頃　両チーム選手紹介
12:50 ～　オープニングパフォーマンス
13:00 頃　選手入場
※時間は多少前後する可能性がございます

国歌独唱歌手 木村カエラさん



コメント●ルヴァンカップ決勝！という大舞台で歌わせて頂けること、とても光栄に思います。サッカーは一家揃って大好きなスポーツです。私が歌うことよりも、あわよくば試合を観られるんじゃないかと、家族が喜んでおりました。私は私で頑張ります。
プロフィール● 2004 年 6 月 シングル「Level 42」で歌手としてメジャーデビュー。テレビ、雑誌、CM など多方面で活躍しており、2018 年 4 月には初の描き下ろし絵本「ねむとココロ」を出版。最新曲「Color Me」は各サブスクリプションサービスにて好評配信中。

決勝記念グッズ

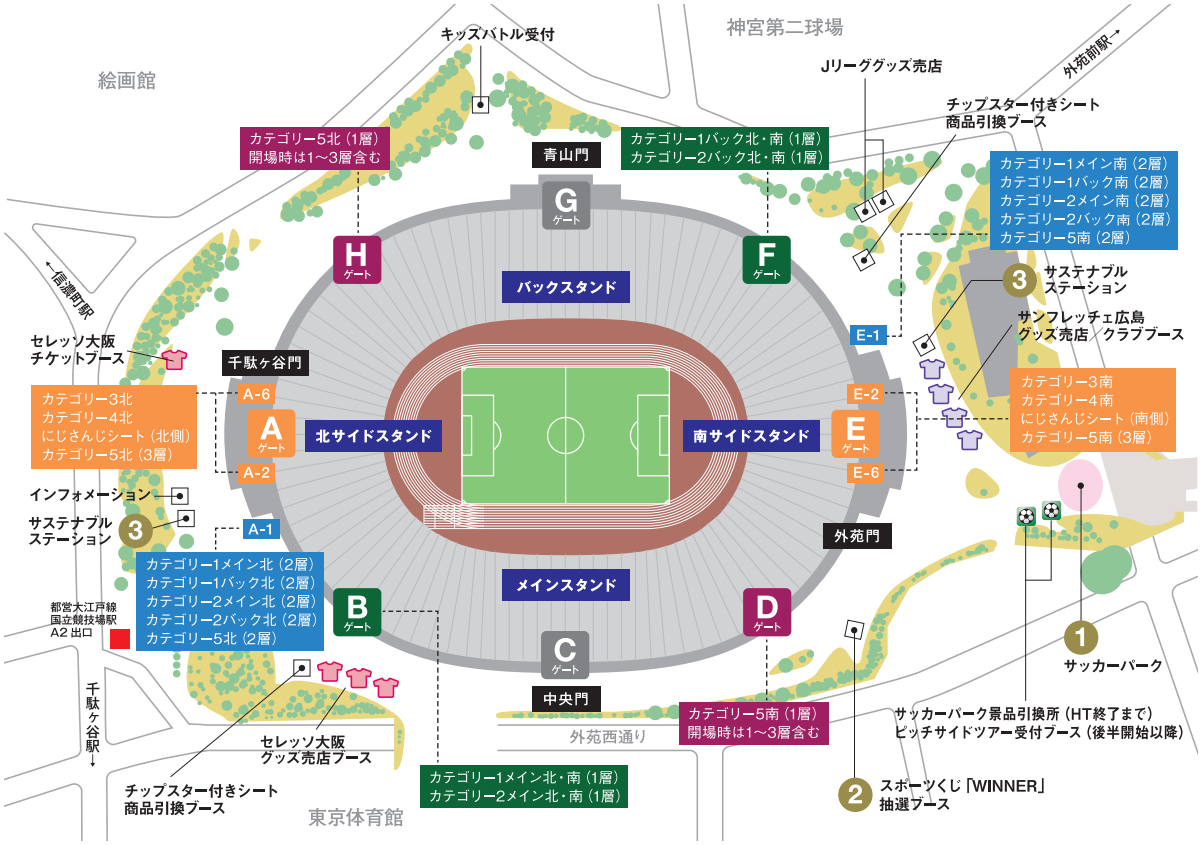
今年の決勝記念グッズは、両クラブのカラーやエンブレムで対決感をあらわした対戦記念デザイングッズと、ルヴァンプライムパッケージデザイングッズを発売します。

【販売場所】
・F ゲート付近、コンコース内グッズ売店





S T A D I U M　M A P





J.LEAGUEと B.LEAGUEに 新しいエールを

新スポーツくじ WINNER誕生

J.LEAGUE　B.LEAGUE

©J.LEAGUE　©B.LEAGUE



くじを買うはエールになる

スポーツくじ　WINNER　toto　BIG

N 19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター